

南支部活動報告

南支部圏域で活躍している中堅理学療法士による若手理学療法士をインスパイアさせるための研修会開催（第3回）

歩行バイオメカニクスの知識を 臨床にどう生かすか？

July the 2th, 2015

平成 27 年 7 月 2 日(木) 19 時 30 分～21 時

講師：**倉敷平成病院 戸田晴貴先生**

参加者：124 名(学生・1～5 年目のセラピスト)

会場：川崎リハビリテーション学院 8 階講堂



今回は戸田先生にバイオメカニクスの基礎から、歩行バイオメカニクスについて。また、多くの文献から得られた知見を、どう読み解き臨床に活かしてゆくのか、具体的なデータから臨床応用への繋げ方を分かりやすくご講義頂きました。

【参加者のコメント】（倉敷平成病院：坊田純平さん）

H27年7月2日に開催された「歩行バイオメカニクスの知識を臨床にどう生かすか!?!」に参加しました。講師の先生は倉敷平成病院の戸田晴貴先生でした。

今回は臨床現場や研究など幅広く活躍されている戸田先生から立ち上がり動作時の重心移動や歩行時の床反力、筋活動などを学ばせていただきました。歩行時の運動学や運動力学についてグラフなどを使用され一つ一つを丁寧に説明していただき、いままでより一層知識を深めることができました。また、臨床でそれらをどのように評価、分析していくのかということをお話していただき、正常な動作を知った上でそれから外れた戦略をとっている時にそれがなぜなのか理解することの重要性を感じることができました。

先生は講習会の中でいろいろな研究のデータなどを紹介してくださいました。下肢の一つの筋を抑制した時他の筋活動がどのように変化するかグラフで表しているものもあり、筋力が低下している場合、他の筋にどのような影響を与え代償動作などが起こりやすくなるのかなど考えることができました。

今回の講習を受け、基礎的な知識から臨床現場での考え方まで多くのことを学ぶことができました。これからは解剖学や運動学、生理学などの知識や正常な動作での筋活動などを学び、それらに基づき臨床現場で考察、介入が行える理学療法士になれるように努力していきたいと思います。

—支部長より—

戸田君とは12年間、同じ職場で働いている。講義の前半に彼が語った、「本物の理学療法士に会うこと、その経験が自分の理学療法、医療人としてのスタンスに大きく影響を与えた」という一言から、彼が入職した当初のことを思い出した。入職時から、自ら外に知識と技術を求め出てゆき、自ら本物に出会うための行動を起こしていた。臨床として職場から学ぶもの、理学療法士として外から学びとるものを明確に分け、職場では得ることのできない知識、技術を取り入れる努力を積極的に行っていた。そして、多くの先生方との出会いをきっかけとし、さらに何かを得ようと、「〇〇先生を知っている」「〇〇先生の研修会に行った」という表面的、受動的な関係にとどまらず、自ら働きかけ、先生方に「戸田晴貴を知ってもらおう」行動を起こした。

人から何かを学びとるということは、その人の講演、研修会に参加することではない。それは学びのほんの一步目に過ぎない。本当に学びたいのであれば、その人の懐にどう飛び込んでゆくのか？勇気と行動力と熱意が必要である。研修会のひと時から得られるものなんて大したものではない、そのことを彼は知っていたし、そして本物を見極める力を持っていた。本物を見極めるためには、謙虚さと反骨精神のバランスの良さを持った思考が大切になる。人の考えを取り入れる器を持ちつつも人に安易に流されないような軸を持つ。

何が本当に大切なのか、物事の本質を見極めようとする姿勢が今の彼を作り上げ、これからの彼を作り上げて行く。

The next lecture

倉敷リハビリテーション病院

永幡哲也

Tetsuya NAGAHATA, RPT, MS

「姿勢制御に関する基礎研究の知見から
臨床介入を紐解く」

2015年9月17日 予定

-御礼-

岡山県内の各養成校の先生方、ならびに川崎リハビリテーション学院の苫野稔先生を始め教職員の皆さまには、案内の配布、会場準備、資料作り等ご高配、ご尽力頂いたことに感謝致します。今後ともご理解とご支援の程頂きたく何卒よろしくお願い致します。

南支部 津田陽一郎